

幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会

第3回新校区検討部会 会議次第

日時 令和6年2月7日（水）18時30分

場所 登別市観光交流センターヌプル

多目的室A（1F）

1. 開会

2. 報告事項

（1）新制服導入の進め方について

3. 協議事項

（1）校名／校歌／校章について

4. その他

5. 閉会

【幌別中学校と登別中学校の統合】新制服導入の進め方について

1 新制服導入に関する考え方

令和9年4月の統合時に、全学年全生徒が同一制服を着用できるよう、統合前の両校で、令和7年度の新入学生から先行して新制服を導入。

2 新制服導入に向けたスケジュール

令和6年1月19日 供給メーカーの選定

両校校長及び教頭、教育委員会により、メーカー2社の参加でプレゼンを実施し、供給メーカーを選定。

⇒メーカー2社にプレゼンの実施を案内したが、1社が辞退したことから、供給メーカーは「トンボ学生服」に決定。

令和6年2月中旬

1次候補の選定

両校校長、教頭、生徒指導主任、養護教諭、両校PTA役員により、選定メーカー1社の参加でプレゼンを実施し、1次候補5モデルを選定。

令和6年3月～4月

最終候補の選定

両校生徒による合同委員会で、1次候補5モデルから最終候補3モデルを選定。

令和6年5月

新制服の決定

両校在校生、幌別小学校、幌別東小学校、登別小学校の4～6年生による投票により、新制服を決定。

3 各段階の作業について

① メーカーの選定

両校校長及び教頭、教育委員会により、メーカー2社にプレゼンの実施を案内したが、うち1社が辞退したことから、供給メーカーは「トンボ学生服」に決定した。メーカーに対しては、プレゼン案内時に次の条件を提示した。

- ・(男女1対) 8モデル程度を提案すること。
- ・提案モデルは性別に関係なく自由に着られる、いわゆる「ジェンダーレス制服」とすること。
- ・提案モデルは登別市立鷺別中学校及び北海道明日中等教育学校の制服と別モデルであること。
- ・提案モデルは男女ともに1着20,000円～50,000円程度の価格帯とすること。
- ・当日は本体またはモデル画像及び生地サンプルを持参すること。

なお、メーカー1社は辞退したものの、プレゼンは予定どおり実施し、今後のスケジュール、提案モデルが提示条件を満たしているかなどを確認した。

② 1次候補の選定

両校校長、教頭、生徒指導主任、両校PTA役員により、供給メーカーの参加でプレゼンを実施し、1次候補5モデルを選定。

供給メーカーに対しては、プレゼン参加依頼時に次の条件を提示。

- ・(男女1対) 8モデル程度を提案すること。
- ・提案モデルは性別に関係なく自由に着られる、いわゆる「ジェンダーレス制服」とすること。
- ・提案モデルは登別市立鷺別中学校及び北海道明日中等教育学校の制服と別モデルであること。
- ・提案モデルは男女ともに1着20,000円～50,000円程度の価格帯とすること。
- ・当日は本体またはモデル画像及び生地サンプルを持参すること。

※プレゼンは2月中旬を予定。当日は1時間程度のプレゼン後、両校校長、教頭、生徒指導主任、両校PTA役員で協議し、1次候補5モデルを選定。

③ 最終候補の選定

両校生徒による新制服選定合同委員会により、1次候補5モデルから最終候補3モデルを選定。なお、新制服選定合同委員会は令和5年度中に設置することになるため、メンバーは両校1～2年生とし、各校4名、計8名で構成(各校メンバーにはそれぞれ男女が含まれるよう調整)。各校で事前協議を行った上で、全メンバー参集会議を1回行うことを想定。

④ 新制服の決定

最終候補3モデルを対象に、(令和6年5月時点の)両校1～3年生、幌別小学校、幌別東小学校、登別小学校の各4～6年生で投票を行い、最大得票モデルを新制服に決定。なお、投票は1人1台端末を活用して行うことを想定。

⑤ 新校区検討部会での報告

新校区検討部会で各段階の途中経過を報告。

4 その他

新校区検討部会で校名等の取扱いが決定した段階で、学校統合委員会本体に校名等と制服の取扱いを合わせて報告する予定。

校名／校歌／校章について

令和6年2月7日
登別市教育委員会

前回会議における議論

校名／校歌／校章は新しくすべきという意見

- 両地区は生活圏も異なり、統合にマイナスイメージが強いいため、楽しんで統合に臨む環境が必要。
- 校区が広く、一体感を持つための仕掛けが必要。
- 子どもたちは統合に不安を感じつつも、校名等の制定に関わったことに喜びを感じることができる。
- 校歌や校章はその地域を表現しており、それらを通じて地域の成り立ちを感じることができる。

前回会議における議論

校名／校歌／校章は「幌中」を継続という意見

- 校名も大切だが、特色ある取組や部活動の強化など中身の部分で新しい学校を作るのが重要。
- 校名等を変えらるとなれば、同窓会や地域の理解を得るのに相当程度の時間を要する。
- 大人の納得を得る部分が大いではないか。子どもたちは校名等の冠自体には関心が薄いのでは。
- 両校の交流機会など統合後の環境づくりが重要。

前回会議における議論の流れ

校名等は新しくすべきという意見

- 両地区は生活圏も異なり、統合にマイナスイメージが強いため、楽しんで統合に臨む環境が必要。
- 子どもたちは統合に不安を感じつつも、校名等の制定に関わったことに喜びを感じることができる。

校名等は「幌中」を継続という意見

- 校名も大切だが、特色ある取組や部活動の強化など中身の部分で新しい学校を作っていくのが重要。
- 大人の納得を得る部分が多いのではないかと。子どもたちは校名等の冠自体には関心が薄いのでは。

意見交換

前回のまとめ

- (地域の理解を得る難しさを考えれば) 制服を新しくすることで校区の一体感を出し、新学校をスタートすることがいいのではないかと。
- 次の統合時に新校舎建設が想定されるのであれば、校名等の検討はその時でいいのではないかと。
- (校名等もという思いは持ちつつも) 制服を新しくすることで統合校の新しさを出し、統合に楽しさを感じる環境を作りたい。

校名／校歌／校章のまとめ

前回会議におけるまとめ

- （地域の理解を得る難しさを考えれば）制服を新しくすることで校区の一体感を出し、新学校をスタートすることがいいのではないか。
- 次の統合時に新校舎建設が想定されるのであれば、校名等の検討はその時でいいのではないか。
- （校名等もという思いは持ちつつも）制服を新しくすることで統合校の新しさを出し、統合に楽しさを感じる環境を作って欲しい。

今回あらためて議論を行い

「校名／校歌／校章」の考え方をとりまとめ